



文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」

NEWSLETTER

No.
18
2017.3

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

Index

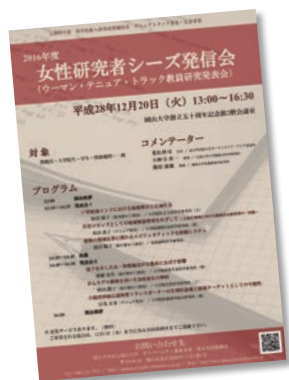
平成28年度 女性研究者シーズ発信会	1
次世代理系女子のための取組み	2
平成28年度研究スキルアップ講座 実施報告	3
女性サポート相談室だより／お手軽簡単 Recipe／室長の退任にあたって／編集後記	4

平成28年度 女性研究者シーズ発信会 (ウーマン・テニュア・トラック教員研究発表会)

開催日 平成28年12月20日(火)
場 所 津島キャンパス創立五十周年
記念館2階会議室



平成28年12月20日(火)、平成28年度女性研究者シーズ発信会が、本学創立五十周年記念館にて開催され、4名のウーマン・テニュア・トラック(WTT)教員および2名のテニュア教員がこれまで遂行してきた研究の成果について報告を行いました。当日は、他大学から招待したコメンテーターの先生方3名を含めた46名の参加者があり、各報告に対して活発な意見交換が行われました。なお、本発信会は企画から運営までをテニュア教員が実施しています。



発表者	研究発表タイトル
和田 郁子(第Ⅶ期 WTT 教員) 大学院社会文化科学研究科(文)	17世紀南インドにおける海港都市と広域社会
本田 恭子(テニュア教員) 大学院環境生命科学研究科(環)	市民コモンズとしての地域資源管理をめざして 一都市化地域における農業用水路管理の一形態
池田 陽子(第Ⅳ期 WTT 教員) 資源植物科学研究所	植物の環境応答に関わるエピジェネティックな 制御システム
齋藤 光代(第Ⅳ期 WTT 教員) 大学院環境生命科学研究科(環)	地下を介した水・物質輸送が生態系に及ぼす影響
増田 潤子(第Ⅳ期 WTT 教員) 大学院自然科学研究科(工)	がんモデル動物を用いた免疫変化の解析
日浅 未来(テニュア教員) 大学院医歯薬学総合研究科(薬)	小房型神経伝達物質トランスポーターの生理的 意義と創薬ターゲットとしての可能性

■ 感想(参加者の声)

- ・WTT教員として人文系の研究者が活躍し、評価されていることがたいへん画期的だと思いました。(学外の大学・研究機関等関係者)
- ・継続的に参加していると各先生の研究の進展状況が見えてたいへん興味深いです。自分自身の励みにもなります。(岡山大学教職員)
- ・WTT教員による成果(通常のテニュアトラック制では得られないもの)があれば聞きしたかった。研究発表自体はどれほどたいへん興味深くおもしろかった。(学外の大学・研究機関等関係者)



次世代理系女子のための取組み

本学では、女子中高生の理系への進路選択の支援を目的として、『〜リケジョへの誘い〜おかやまサイエンス・トーク』『オープンキャンパス参加型企画〜理系の魅力 女子高校生の皆さんへ〜』と題し、男女共同参画室を中心に出席授業やフリートークイベントなどを開催しました。

1

おかやま サイエンス・トーク

中高校生特に女子学生に理系分野の勉強や進学に関心を持ってもらうために、市内の中学校・高等学校を訪問し、WTT教員と女子大学院生各1名による研究内容紹介・質疑応答を行いました。

第1回

岡山県立 岡山芳泉高等学校

開催日：平成28年6月30日（木）
参加者：高校1・2年生外 45名



女性ホルモンと受容体

松原 美咲 大学院自然科学研究科（理） 博士前期課程2年生

惑星上の流体力学

小布施 祈織 大学院環境生命科学研究科（環） 第VI期 WTT 教員（特任助教）

第2回

岡山県 作陽高等学校

開催日：平成28年7月13日（水）
参加者：高校1年生外 52名



植物細胞壁における免疫機構の解明

山崎 史織 大学院環境生命科学研究科（農） 博士前期課程1年生

海の歴史を記録するサンゴ

井上 麻夕里 大学院自然科学研究科（理） 第V期 WTT 教員（特任助教）

第3回

岡山県立 瀬戸南高等学校

開催日：平成28年7月26日（火）
参加者：高校1・2・3年生外 8名



植物が病気を防ぐためのメカニズム 〜植物と病原菌の目に見えない戦い〜

三木 紅葉 大学院環境生命科学研究科（農） 博士前期課程2年生

遺伝子・タンパク質の解析を通して生物による 鉱物形成メカニズムを明らかにする

根本 理子 大学院環境生命科学研究科（農） 第VI期 WTT 教員（特任助教）

第4回

岡山県立 倉敷中央高等学校

開催日：平成28年8月23日（火）
参加者：高校2年生外 30名



植物が環境に応答するユニークな仕組み

金澤 まい 大学院環境生命科学研究科（農） 博士前期課程2年生

目には見えない“地下水”の科学〜その隠れた役割〜

齋藤 光代 大学院環境生命科学研究科（環） 第IV期 WTT 教員（特任助教）

第5回

(Jr) 山陽学園 山陽女子中学校

開催日：平成28年9月30日（金）
参加者：中学1・2年生外 19名



理系嫌いがリケジョになったワケ

内田 瑠子 大学院医歯薬学総合研究科（歯） 博士課程2年生

人間が排出する化学物質が「環境」に与える影響を考える

田村 生弥 大学院環境生命科学研究科（環） 第VI期 WTT 教員（特任助教）

第5回

(High) 山陽学園 山陽女子高等学校

開催日：平成28年9月30日（金）
参加者：中学3年生・高校1年生外 40名



石垣島におけるサトウキビ畑とサンゴ礁の保全

岡 香菜子 大学院環境生命科学研究科（環） 博士前期課程1年生

iPS細胞を用いてがんを解明する

増田 潤子 大学院自然科学研究科（工） 第IV期 WTT 教員（特任助教）

■ 感想

- ・どんな一日を過ごしているか、研究室の様子が分かって良かったです。難しいけれど面白そうな研究で興味が持てました。（芳泉高校2年生）
- ・面白くて分かりやすく、文理選択をよく考える機会になったので、またこういう機会があれば参加したいと思いました。研究も知らないことばかりで、とても勉強になりました。（作陽高校1年生）
- ・参加する前は難しいことばかりを説明されるのかなと思っていましたが、実際に参加してみると興味深い面白い話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。（瀬戸南高校3年生）
- ・大学に行ったら難しいことを研究しなければならないので大変だと思いました。（倉敷中央高校2年生）
- ・研究の話だけでなく、大学生活や高校生活の話、当時の悩みなどが聞けた。共感することができたので、とてもよい時間が過ごせたと感じました。（山陽女子中学3年生）

2

理系の魅力
女子高校生の皆さんへ

岡山大学オープンキャンパスの開催に伴い、参加者特に女子学生に理系分野の勉強や進学に関心を持ってもらうために、理系分野の学部生・大学院生による個別のフリーターキングコーナーを設けました。



開催日 平成28年8月5日（金）
場 所 津島キャンパス 大会館1階 喫茶コーナー
参加者 小・中・高校生・教員・保護者外 60名
分 野 工学部・理学部・農学部・薬学部



開催日 平成28年8月6日（土）
場 所 津島キャンパス 大会館1階 喫茶コーナー
参加者 小・中・高校生・教員・保護者外 55名
分 野 工学部・理学部・農学部・環境理工学部・医学部・歯学部・薬学部

■ 感想

- ・自分の悩みを聞いて、答えて下さったので良かったです。興味がもっと出てきました。(京都府・高校2年生)
- ・大学に入ってからやることや、研究室にどのように入るのかを聞くことが出来て、大学生活のイメージが湧きました。(広島県・高校既卒者)
- ・実際に在学されている方々のお話がたくさん聞けて、具体的な授業内容などを知ることが出来て、とても良かったです。(倉敷市・高校1年生)
- ・とても話しやすい雰囲気、自分の気になっているところなど聞きやすかったです。楽しそうに話をされていたので、学校に入りたい気持ちが強くなりました。(島根県・高校3年生)

平成28年度研究スキルアップ講座 実施報告

[第1回 アクセプトされるための論文の作り方と文献管理]

1日目 平成28年10月26日（水）16:00~17:30
津島キャンパス大学附属図書館3階 セミナー室

2日目 平成28年10月27日（木）18:00~19:30
鹿田キャンパス管理棟3階 大会議室

講 師 エルゼビア・ジャパン株式会社 高石 雅人 氏

参加者 教職員・大学院生外 36名



Report 1



2日間に亘り、津島キャンパスと鹿田キャンパスにおいて、エルゼビア・ジャパン株式会社の高石雅人氏を講師に迎えて、平成28年度第1回研究スキルアップ講座「アクセプトされるための論文の作り方と文献管理」を開講しました。具体的には、英文電子ジャーナル投稿ジャーナルの選択方法とツール、論文の構造と組み立て方、文献の収集方法、参考文献リストの作成、論文の発信とコラボレーション、自身の論文のパフォーマンス確認、の内容で講演してもらいました。2日間全体で参加者は36名でした。アンケートでは参加者全員が「有意義であった」と回答しており、好評のうちに終了しました。

[第2回 英語論文読解スキルワークショップ]

文系分野 平成29年2月20日（月）9:30~15:30

理系分野 平成29年2月21日（火）9:30~15:30

場 所 津島キャンパス大学附属図書館3階 セミナー室

講 師 エダングス グループ ジャパン株式会社 シニアエディター Dr. Trevor Lane
エダングス グループ ジャパン株式会社 シニアエディター Dr. Kate Harris

参加者 教職員・大学院生外 31名



Report 2



2日間に亘り、エダングス グループ ジャパン株式会社の Trevor Lane 博士と Kate Harris 博士を講師に迎えて、平成28年度第2回研究スキルアップ講座「英語論文読解スキルワークショップ」を開講しました。本講座は特に英語論文の読解スキルの向上を目的としたもので、理系と文系とで別々に日程を設け、5時間かけて効率的かつ効果的に英語論文を読解するための秘訣を学びました。具体的には、「テキストから必要な情報を探し出すトレーニング」、「例題を要約するトレーニング」、「例題から研究の効果と強みを精査するトレーニング」の3つのアクティビティを柱に、論文読解の手法を学びました。両日合計で31名の参加者があり、大変有意義な講義となりました。

女性 サポート

相談室だより

第25回&第26回 キャリアカフェ

第25回：子どもとのコミュニケーションと仕事

開催日 平成28年7月15日（金）

参加者には中高生の子どもを持つお母さんが多く、子どもの反抗的な態度の話から自立の話に発展しました。進学可能な大学が近くにあり、それなりに子どもが楽しめる場所もある地域で育つと、現状に満足してしまい自立しようとしにくい傾向がみられるので、親が意識的に自立させようとするのが大切である、という結論に達しました。

第26回：夏・家族・仕事 2016

開催日 平成28年8月26日（金）

参加者には小学生以下のお子さんをお持ちのお母さんが多く、家庭のことについては、当初予想していた夏休み中の子どもの生活に関するのではなく、病児保育の充実を図ってほしい、雨天時に子どもを安心して遊ばせられる施設が岡山にはあまりない、といったことが話題になりました。

相談はこちらへ

● メールアドレス：sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

● 電話番号（代表）：086-251-7011

お手軽簡単 Recipe

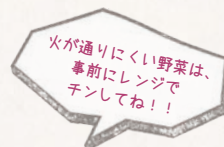
第7回
3分で出来る
豚キムチスープ



【材料】（約3人分）

豚肉……………200グラム
キムチ……………200グラム
野菜（ネギ、えのき、ニラ等 何でもOK）
ごま油……………小さじ1
鶏ガラスープの素……………小さじ1
水……………300cc

- ① ごま油を火にかけ、豚肉、キムチを炒める。
- ② 豚肉に火が通ったら、野菜を入れる。
- ③ 水と鶏ガラスープの素を入れて、煮立ったら出来上がり！



室長の退任にあたって

ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室長 富岡 憲治



この度、任期満了に伴い男女共同参画室長を退任することとなった。男女共同参画への取組みに関わるようになったのは、平成20年の秋頃だった。当時、女性研究者支援モデル事業への申請準備が進められているところであった。平成21年度に申請が採択され、「岡大発・女性研究者が育つ進化プラン（進化プラン）」が3年間にわたり、沖陽子前室長を中心に進められた。この事業では女性教員の雇用促進、ライフイベント等に際する研究サポート体制の構築を通して、持続的にハイレベルな女性研究者が育つという循環を産み出すことを目指した。その柱は、ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制による、若手女性教員の積極的雇用である。

WTT制は平成23年度から文部科学省のテニユアトラック普及・定着事業の支援を受けつつ継続され、これまでに20名が採用され、そのうち11名は既にテニユアを取得して各所属部局で活躍中である。私は、平成25年から沖前室長の後任として室長を拝命したが、多くの室員、関係者の協力により、進化プランの継続発展を目指した取組みが進められてきた。幸いにして昨年度からダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）に採択され、進化プランの「持続的にハイレベルな研究者が育つ」環境の実現と、より一層の支援を目指した取組みが進められている。支援の対象も女性中心から次第に男性にも拡大しつつある。近い将来に性別や国籍などを意識せず、教育・研究にそれぞれがその能力を遺憾なく発揮し、活躍できる大学となることを期待している。

編集後記

突然ですが、無類の本好きです。どれくらい好きかといえば、旅行先には必ず数冊の本を携帯し、枕元にもお気に入りの本が置いてあるぐらい。本好きの人は、図書館で借りるか購入するかのいずれかに分かれると思いますが、私は断然後者です。真新しい本に線を引き、書き込みをしながら読書するのは至福のひとつです。当然のことながら家の中は本だらけ。その勢いは衰える気配がありません。これではまずいと思い年に一度は整理しようとするのですが、どれも愛着があり捨てることができません。とはいえ増殖する本を全て収納できるだけのスペースもなし。不必要なものを手放して気持ちをすっきりさせる断捨離という言葉が一時流行りましたが、私の場合、本を捨てることができたとしても、むしろ後悔の思いが強く、とてもすっきりとした気持ちにはなれないような気がします。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL: 086-251-7011 FAX: 086-251-7033
Email: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u-diversity.jp/

